

聖マリアンナ医科大学病院

住所：〒216-8511 神奈川県川崎市宮前区菅生 2-16-1

TEL：044-977-8111

HP：<https://www.marianna-u.ac.jp/>



責任者からのコメント

当院は三次救急病院であり、急性期リハビリテーション治療を十分に経験できます。運動負荷とは合成と分解(同化と異化)を同時に賦活するものであり、特に急性期重症者では体の中で起きている生理学・生化学的狀態を把握して適切な負荷を行う必要があります。なぜこのリハビリテーション治療を今すべきなのかといった、医学の本質の学習ができます。

昨年は新型コロナウイルス感染後遺症に対する rTMS など、世界にまだない新たな治療の推進について多数メディアでも紹介されました。

リハビリテーション科医師(2022年12月現在)

責任者：診療部長・主任教授・専門医・指導医 佐々木信幸(慈恵 H9 卒)

リハビリテーションセンター医師

リハビリテーション科、循環器内科、脳神経内科、救命科、耳鼻咽喉科、呼吸器内科、整形外科より各1名(計7名)

総病床数：1123、診療科・センター数：52、理学療法士20名、作業療法士7名、言語聴覚士4名

研修病院としての特徴

1. 三次救急病院としてのリハビリテーション医療

当院は三次救急病院として医療圏域を超えて多くの患者の診療にあたっております。急性期リハビリテーションについては特に高く評価されており、循環器・呼吸器疾患等のガイドライン策定や AMED 等の大規模研究にも参加し、国内最大規模の診療実績を誇る COVID-19 についても ICU 入室時から全例リハビリテーション治療を行っています。毎日 20~30 人の新規リハビリテーション依頼患者を受けており、多種多様な疾患・病態に対する攻めのリハビリテーション医療を学べます。

2. 真の意味で対等な多職種チーム医療

リハビリテーション治療はチーム医療です。当大学には 2020 年度までリハビリテーション科がなかったこともあり、関連する各科から医師が派遣されリハビリテーションセンターが構成されています。いわばリハビリテーションセンターのみで多種多様な疾患や病態に対し総合診療が行える体制ができており、その中で育ったセラピストやナースも非常に優秀なジェネラリストとしての知識・スキルを有しています。トップダウンでなく真の意味で並列・対等なチームとしての治療を経験できます。

3. 新たな治療の創設

これまで脳卒中領域を中心に用いられていた反復性経路磁気刺激(rTMS)を、様々な疾患・病態に適用しております。2022 年には世界で初となる HTLV-1 関連脊髄炎の歩行障害への rTMS の有効性を証明しました。当院には難病治療センターがあり、全国から希少疾患が集まります。まだ世界にないリハビリテーション治療を考え、創出することができます。2021 年からは世界に先駆けて rTMS を用いた新型コロナウイルス感染後遺症治療を開始しており、こちらにも全国から多数の患者が訪れております。

最後に

2023 年 1 月から新病院に生まれ変わります。日本初の電子カルテ、病院としては世界初の高速ネットを用いたインタラクティブな配信スタジオなども作りました。医局もカフェのような空間を作りました。一緒に働けることを楽しみにしております。



YouTube



山徳雅人先生 西川中子先生